

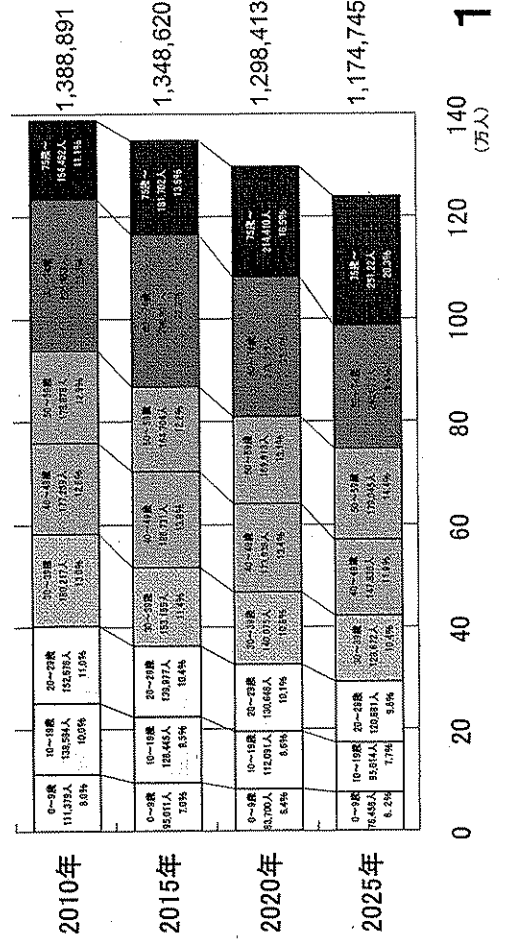
南和地域における市町村国保等の将来推計

平成22年10月
奈良県保険指導課

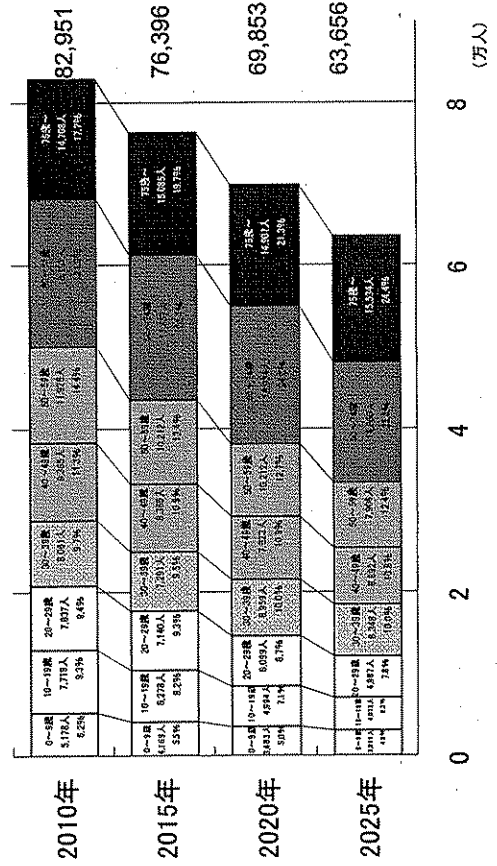
人口の動向

	南和地域	県全体
➤ 総人口 (2010年→2025年)	82,951人→63,656人 (23%減)	1,388,891人→1,174,746人 (15%減)
➤ 75歳以上人口 の割合 (2010年→2025年)	17.7%→24.4% (6.7ポイント増)	11.1%→20.3% (9.2ポイント増)

(図2) 奈良県全体の将来推計人口



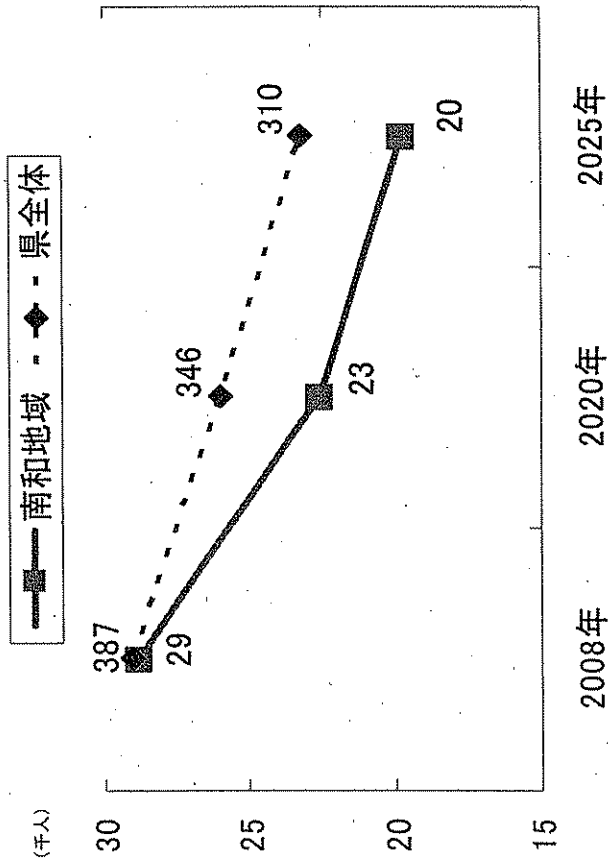
(図1) 南和地域の将来推計人口



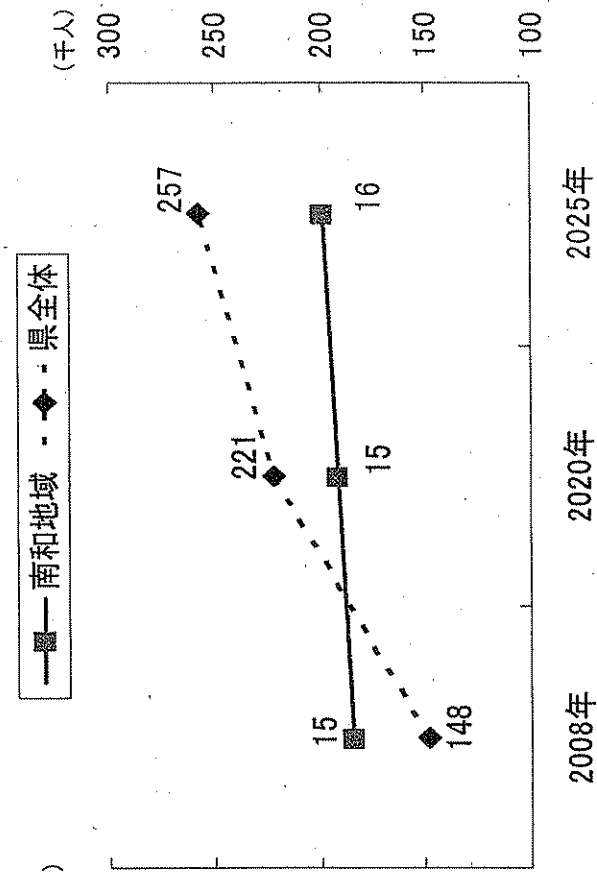
被保険者数の動向

	南和地域	県全体
➤ 国保被保険者数 (2010年→2025年)	29千人→20千人 (31%減)	387千人→310千人 (20%減)
➤ 後期被保険者数 (2010年→2025年)	15千人→16千人 (6%増)	148千人→257千人 (74%増)

(図3) 国保被保険者数の将来推計



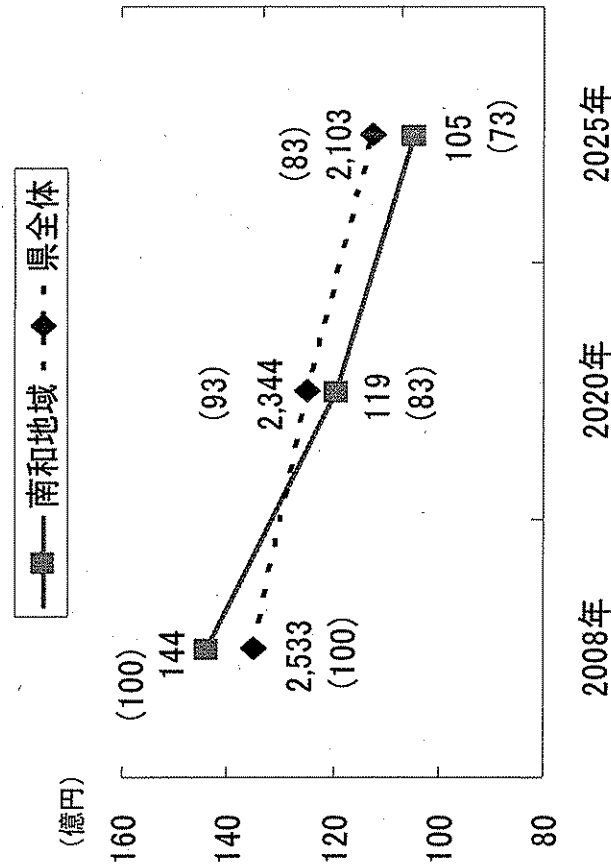
(図4) 後期高齢者数の将来推計



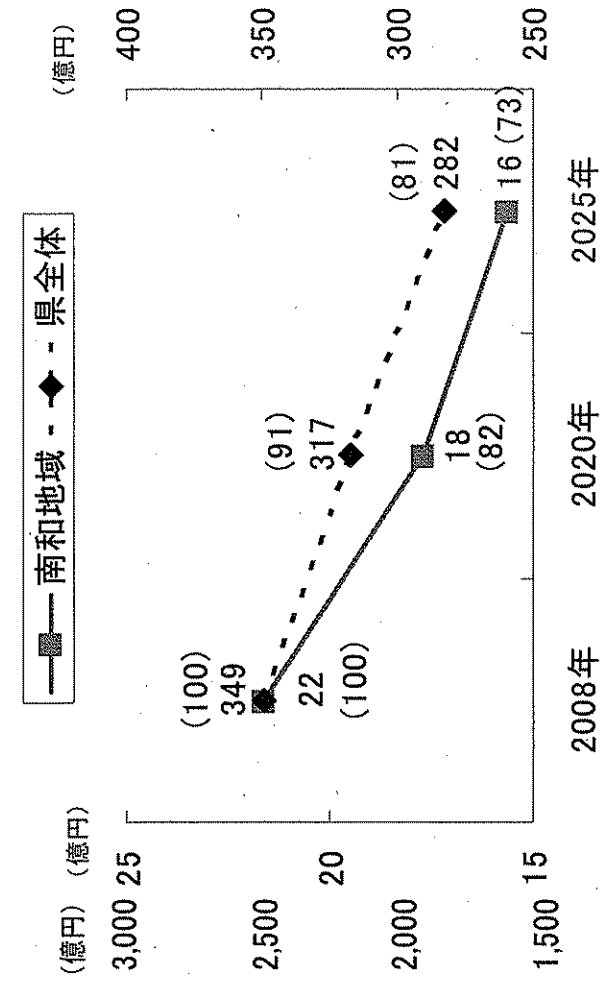
保険料収入等の推計

	南和地域	県全体
➤ 課税所得 (2010年→2025年)	144億円→105億円 (27%減)	2,533億円→2,103億円 (17%減)
➤ 保険料(税)収入 (2010年→2025年)	22億円→16億円 (27%減)	349億円→282億円 (19%減)

(図5) 国保被保険者にかかる課税所得の将来推計



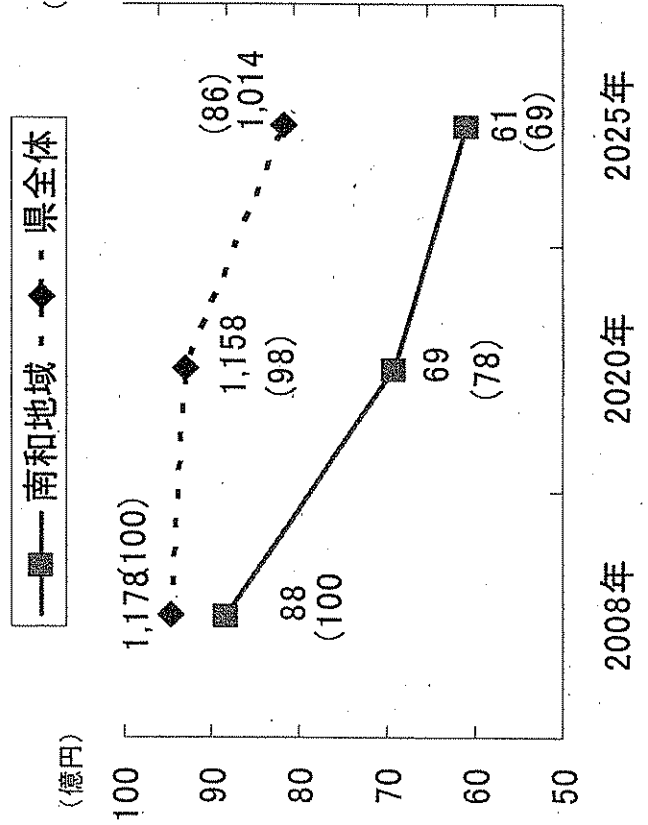
(図6) 国保における保険料(税)収入の将来推計



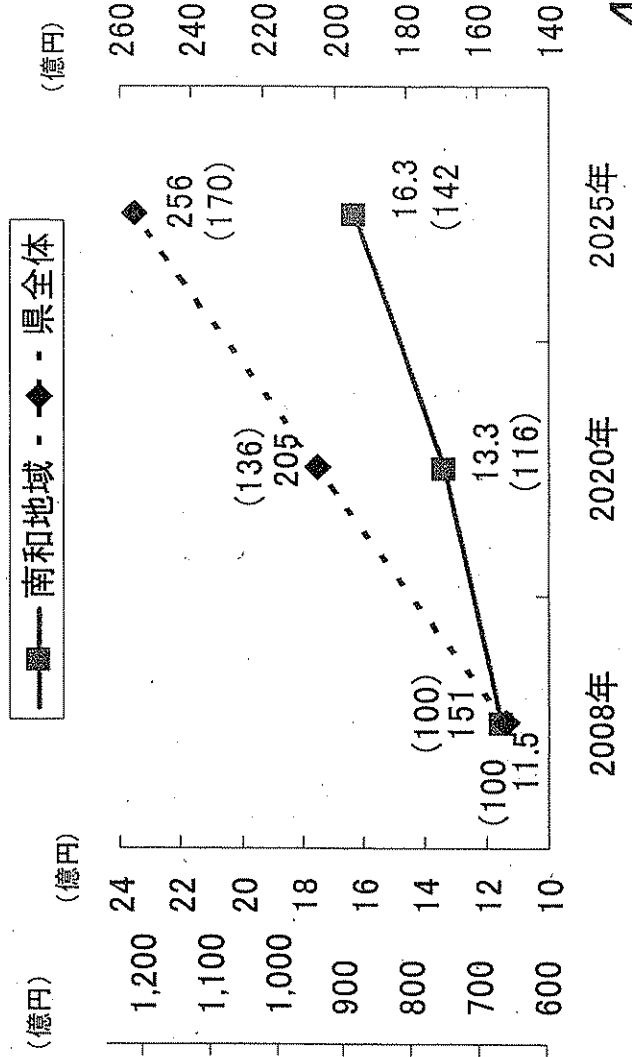
医療費等の推計

	南和地域	県全体
➤ 国保医療費 (2010年→2025年)	88億円→61億円 (31%減)	1,178億円→1,104億円 (14%減)
➤ 後期高齢者支援金 (2010年→2025年)	11.5億円→16.3億円 (42%増)	151億円→256億円 (70%増)

(図7) 国保医療費の将来推計



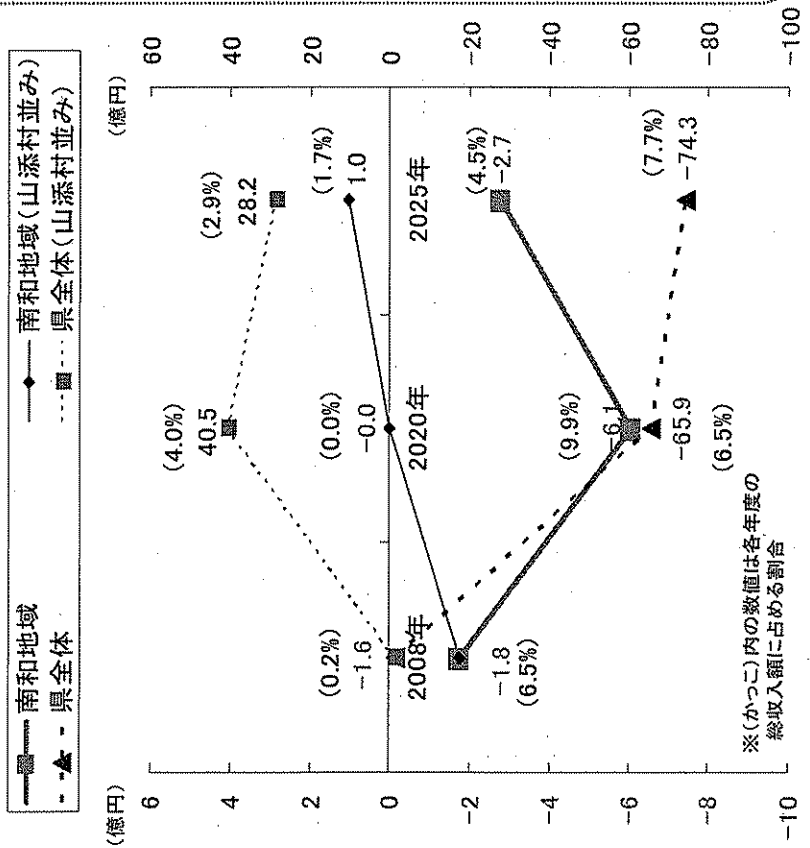
(図8) 国保が負担する後期高齢者支援金の将来推計



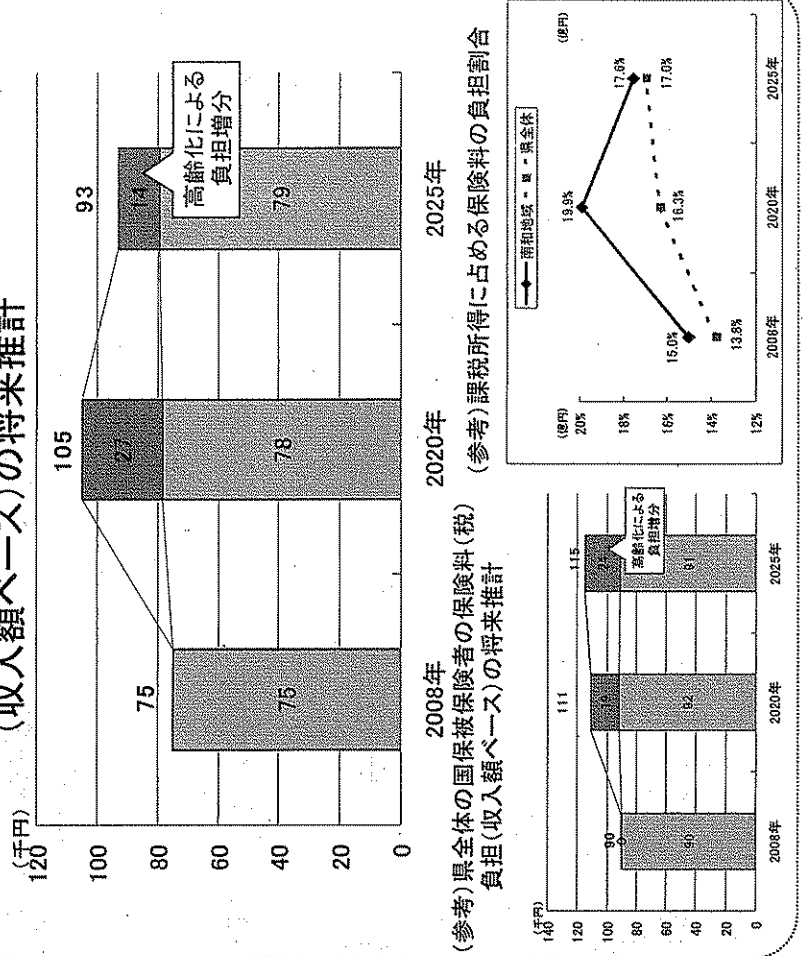
単年度収支と1人当たり保険料の推計

南和地域		県全体	
➤ 国保単年度収支 (2010年→2025年)	▲1.8億円→▲2.7億円 (0.9億円悪化)	▲1.6億円→▲74.3億円 (72.7億円悪化)	
➤ 国保単年度収支 (山添村医療費並み) (2010年→2025年)	▲1.8億円→1.0億円 (2.8億円改善)	▲1.6億円→28.2億円 (29.8億円改善)	
➤ 1人当たり保険料負担 (2010年→2020年)	75千円→105千円 (40%増)	90千円→111千円 (23%増)	

(図9) 国保の単年度収支の将来推計



(図10) 南和地域の国保被保険者の保険料(税)負担 (収入額ベース)の将来推計



以上の推計より注目すべき点は以下の3点

- ① 南和地域、県全体ともに総人口は減少するが、南和地域では、75歳以上人口は増加しない。(P.2 図4)
一方、若年世代の減少率は、県全体よりも高い(P.1)
- ② 将来、国保の収支がとれるように保険料(税)を上げていくと、金額は県全体より低いが、所得に対する負担割合を考えると、県全体よりも南和地域の方が重い負担となる。(P.5)
- ③ 南和地域でも山添村と同様の取組等により医療費を遡減させた場合には、財政収支は改善される見込み。(P.5)